

8月の観測史上最大の大雨に



1 隈川の水が溢れ、隣接する市道は通行止めに（倉永） **2** 流木で橋脚が損壊した諏訪川にかかる臼井橋（神田） **3** 住宅地で発生したがけ崩れ（吉野）

8月11日から18日にかけて記録的な大雨に襲われた九州北部。大牟田市は、8月の観測史上最大の豪雨に見舞われ、道路の冠水やがけ崩れなどの被害が発生しました。

被災された皆さまにお見舞い申し上げますとともに、当時の状況を報告します。

警報・避難情報等の経過		(抜粋)
8月11日(水)	13時37分	大雨警報（土砂災害）
	14時55分	水防本部設置
	16時30分	洪水警報
	18時30分	災害対策本部設置
		自主避難所24カ所開設
8月12日(木)	11時31分	土砂災害警戒情報
	11時35分	大雨警報（浸水害）
	11時55分	3校区へ高齢者等避難
		（警戒レベル3）発令
	12時30分	高齢者等避難市内全域へ 自主避難所から指定避難所へ
	16時30分	避難指示（警戒レベル4） 発令
8月14日(土)	10時10分	大雨特別警報（土砂災害）
	10時15分	緊急安全確保（警戒レベ ル5）発令
	11時15分	大雨特別警報（浸水害）
8月16日(月)	18時	避難所を追加し、指定避難所 32カ所開設
8月19日(木)	9時	避難指示等解除、すべての避 難所閉鎖

リアルタイムで情報を提供しました

大雨が降り続いた期間、道路や河川、避難所の状況などを、さまざまな手段を使い、リアルタイムで情報提供を行いました。

大牟田市公式LINEに登録を！

約10,000人の登録者がいる大牟田市公式LINE。今回の大雨でも効果的に活用しました。登録がまだの人は早めに登録しましょう！



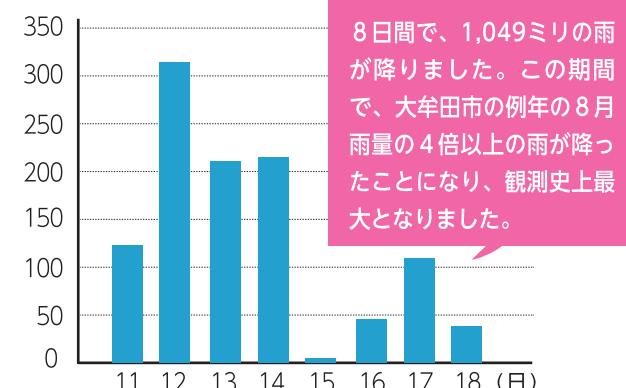
登録は
コチラから！

パソコンやスマートフォンを利用しない人も、テレビやラジオで災害情報をチェック！

KBCテレビのデータ放送「dボタン広報誌」でも、最新の大牟田市の情報をすることができます。手続きや利用料は不要です。また「FMたんと」でも、現場中継を含め災害情報を随時発信しています。

大牟田市の降水量の推移 (8/11 ~ 8/18)

気象庁（アメダス・大臣田）



大牟田市の主な被害状況 (R3.8.24 時点)

住家被害	床下浸水	1棟(※)
道路被害	損壊	13力所
	埋没	3力所
橋りょう	損壊	1力所
河川	溢水	2力所
	施設設備損壊	6力所
土砂災害	がけ崩れ	5力所

(※) 調査中

8月の大雨被害について

・「り災証明（住家）」「被災証明（一部）」の発行：福補課 障害福祉担当 ☎41-2663

・【農林水産業者向け】被災証明書の発行：農林水産課 ☎41-2754

・【事業者向け】被災証明書の発行：産業振興課 ☎41-2762

倉永・上内・高取・平原・天領・天の原・中友校区で

プラスチック製容器包装の収集を 10月から開始します



市では、プラスチック製容器などをリサイクルすることで、燃えるごみを減らすため、令和2年4月から4校区でモデル収集を開始し、現在では12校区で行っています。10月からは、対象校区を全校区へと広げ実施します。

※現在行っている銀水・羽山台・大牟田中央・玉川・吉野・三池・みなと・大正・手鏡・白川・駒馬・明治校区も継続して行います。



プラスチック製容器包装の出し方

対象となる品目

プラスチック製の「容器」や「包装」に
「」マークが表示してあるもの

《品目例》

- ・シャンプー、洗剤の容器
- ・弁当の容器、色つきトレイ、カップめんの容器
- ・豆腐、卵などのパック
- ・お菓子の包み、ペットボトルのラベル・キャップなど
- ・電化製品等を保護する発泡スチロール



対象とならないもの

タッパー、バケツ、洗面器など、それ自体が商品であるもの

※今までどおり「燃えるごみ」に出してください。

出す場所

リサイクルの日に、地域の集積所に出してください。



ネット状の袋の中へ

出す時の注意事項

- ・よく洗って、乾かしてから出してください。
- ・透明または半透明のビニール袋（レジ袋可）に入れて口を結んで出してください。
- ・集積所では、専用の回収容器（ネット状の袋）へ袋のまま入れてください。
- ・汚れが取れないものや中身が残っているものは、「燃えるごみ」に出してください。

●燃えるごみの減量化・資源化に向けて、「できることから、できるだけ」分別していただき、リサイクルへのご協力をお願いします。

家庭でのマスクなどの捨て方

※感染者を増やさないために必ず守ってください。



詳しくは環境省
ホームページへ

ウイルスに感染した人やその疑いがある人が家庭にいる場合、鼻水などが付いたマスクやティッシュなどを捨てる場合は、下記のとおり、「ごみに直接触れない」「ごみ袋はしっかり縛って封をする」そして、「ごみを捨てた後は手をしっかり洗う」ことを心掛けましょう。

①ごみ箱にごみ袋をかぶせ、いっぱいにならないようにしましょう！

②ごみに直接触れることのないよう、しっかり縛って出しましょう！

③ごみを捨てたあとは、しっかり手を洗いましょう！

